## 令和7年度 福岡県優秀技能者被表彰者名簿

※年齢は令和7年11月13日現在

| 号番 | 種職               | 氏名(年齢)<br>所 属                                 | 技能の概要  | 写 真 |
|----|------------------|---|--|-----|
| 1  | 旋盤工              | おおた でや<br>大田 哲也(52)<br>TOTO(株)                | 社内およびグループ会社における生産に必要な研究<br>試作品、射出成形金型、治工具類の製作に長年従事<br>し、卓越した高度加工技能と加工スピードを有してい<br>る。この高い専門性は、新商品立ち上げ、生産トラブル<br>の早期解消および生産性向上活動に欠かせない存在<br>として、多くの改善と功績を上げてきた。その功績が認<br>められ、社内技能スペシャリストである「特級技能師」に<br>任命され、後進の指導育成にも貢献している。また、福<br>岡県ものづくりマイスター活動による地域社会貢献や技<br>能グランプリ全国大会入賞、機械加工特級技能士取得<br>など社外にも認められる技能を保有している。 |     |
| 2  | 金型製造工            | ざい <sup>たかあき</sup><br>福井 孝明(54)<br>(株)三井ハイテック | 入社以来、一貫してモーター鉄心やパーツ打抜き用の<br>超精密金型製造に従事。合金工具鋼・超硬合金の研<br>削加工において、被加工物の寸法精度や表面粗さを<br>見極め、1ミクロンの加工を可能とする高度な技能と、加<br>工された形状を正確に測定する技能を有している。社<br>内の第一人者として活躍する傍ら、技能者の多能工化<br>にも尽力し、育成計画の策定から教育・指導までを担う<br>ことで、現場全体の技術力の向上に貢献している。   |     |
| 3  | ・空調機器組立工業務用冷凍・冷蔵 | がは、りまで<br>椛島 良治(67)<br>(株) 菱 熱                | 入社以来、冷凍・空調設備の仕事一筋で、メンテナンス<br>業務に従事し、更新提案、施工等で卓越した技術と知<br>識を生かしている。現在は機器部の次長として重要施<br>設のメンテナンス並びに設備工事の担当者として活躍<br>する傍ら、若手社員のメンテナンス教育責任者として、<br>空調設備の基礎から設備全般の指導を行っている。ま<br>た(一社)福岡県冷凍空調工業会および(一社)日本冷<br>凍空調設備工業連合会の数々の講習会講師を努め、<br>将来の冷凍・空調設備業界の発展と地位向上に大きく<br>貢献している。  |     |
| 4  | 生産設備保全工          | まつい てるあき<br>松井 輝明(60)<br>日産自動車九州(株)           | 設備保全業務に従事し、圧造工場の自動搬送プレス、<br>天井クレーン、レーザー溶接設備など、数多くの大型設備メンテナンスにおいて卓越した技能を持つ。特に、難<br>易度の高い故障解析や改善、さらには人財育成にも積極的に貢献している。圧造機械分野では社内随一の技能者として、安全かつ的確な作業指導・陣頭指揮を発揮し、大型設備メンテナンスの完遂に寄与している。また、作業指導を通じて後進の育成に積極的に取り組んでおり、現場でのノウハウや高度な技能を次世代へ継承している。  |     |
| 5  | 生産設備保全工          | つるた おさむ<br>鶴田 修(51)<br>トヨタ自動車九州(株)            | 自動車生産設備の設備関係業務に32年間従事。生産設備の設置・保守・保全・改善・導入と現在に至るまで生産性向上に大きく貢献してきた。特に、「生まれの良い設備造り」を追究しトラブルの少ない設備導入に貢献。以後も故障しない設備管理を目指し予知・予防保全に徹し安全・品質・生産性を向上させた。これらの豊富な知識・経験を活かし電気機器認定制度のしくみを構築。後進の育成と次世代リーダーの育成に貢献している。   |     |
| 6  | 婦人・子供服仕立職        | もりやま かずえ<br>森山 一江(81)<br>森山ドレスメーカー学院          | 長年にわたり、洋裁一筋で縫製・デザインの技術向上の研究、工夫、改善を重ねてきた。特に、高度な技術を要する薄く柔らかい生地を用いて女性らしい優美さを表現することや、リバーシブルの生地を用いた服作りを得意としている。また、障がいのある方がファッショナブルで着心地よく、介護しやすい服を開発したり、日本の着物を洋服へとリメイクし、持続可能な社会への貢献(SDGs)にも取り組む。向上心が豊かで技術の習得に余念がなく後進の育成にも意欲的に取り組んだ。社会貢献として、全日本洋裁技能協会福岡県支部(公社)の発展にも尽力している。  |     |

| 号番 | 種職    | 氏 名(年齢)<br>所 属                      | 技能の概要   | 写 真     |
|----|-------|-------------------------------------|---|---------|
| 7  | 建築大工  | いもかわ ゆきじ<br>妹川 幸二(68)<br>山田堰土地改良区   | 建築大工として研鑽を積み、「三連水車」として知られる<br>朝倉の揚水水車群の建造に従事した。妹川氏が手が<br>ける3群7基の水車群は勇壮な意匠、精緻な構造、揚水<br>能力と灌漑面積において日本の水車技術の最高峰と<br>いわれる。43年にわたって日々の点検とメンテナンス作<br>業を続けてきた妹川氏の技能は朝倉市の農業生産の<br>維持および観光に貢献している。また、令和5年度から<br>は、5年ごとの建造、組立や解体など機会があるごとに<br>水車建造技術を伝え、後進を育成している。                  |         |
| 8  | 建築大工  | のせ ひでひる<br>野瀬 秀拓(74)<br>野瀬建設        | 専業の水車大工として、国内外で200基を超える水車の製造・修復・復元に従事。設置場所に合わせた水車の設計や、使用する場所に適した木材の選択、水車につながる機械装置の設計など、水車製造において卓越した技術を有している。また、全国各地に蓄積された水車技術の分析や、資料の収集・整理・公開を行うなど、水車技術の保全・継承に貢献している。さらに、東南アジアの農業振興のため、現地の大工に水車技術の技術指導を行い、国際協力にも貢献している。   |         |
| 9  | 建築とび工 | Ltf: tf AUC<br>霜田 賢司(42)<br>(株) 安井組 | 公共および民間の大型工事における鳶工事部門に従事し、施工にあたっては常に安全意識のもと適切な指導と管理により優れた業績を上げている。<br>作業所全体の安全管理を徹底するため、不安全行動の撲滅を念頭に作業所での安全パトロールを強化し、作業員の怪我の可能性を防ぐ作業手順書の作成にも携わり、手抜き近道行為を排し正しい作業手順の周知と実施に努めている。これにより、常に安全に作業できる環境を準備し作業所での事故災害を未然に防いでいる。また作業所における安全意識の向上につながるよう、安全衛生活動を積極的に展開し災害ゼロに尽力している。 |         |
| 10 | 左官    | 学院 活 (65)<br>中原 浩一(65)<br>(有)中原工務店  | 入社以来、現在に至るまで左官工事業に携わり、技能研鑽に努め多種左官工法を習得してきた。<br>伝統工法である土物壁塗工法、漆喰壁工法、人造石塗工法、また現代工法の石こうプラスター工法、セメント薄塗工法など、下地の種類に応じた下塗材を選定し、常に優れた仕上げを行う。<br>長年にわたり、技能検定員として検定業務の円滑な運営に貢献している。   |         |
| 11 | 配管工   | もはらいました<br>吉原 勇 (59)<br>吉原住設        | 入職以来、41年の長きにわたり管工事業に携わり、配管技能の向上に努めてきた。その優れた技能・技術は高い評価をされている。<br>特に、給排水設備の配管および施工管理において卓越した技能を持ち、高い信頼性に繋がる高精度・高品質の配管工事を施工し、業界の品質目標の模範となっている。また、技能検定委員(建築配管作業)を7年間務め、技能の継承と後継者育成に大きく貢献している。   | Tanna I |
| 12 | 造園師   | ごんどう すみお<br>権藤 澄雄(74)<br>(有)権藤造園土木  | 51年間長きにわたり、造園業に携わり、その優れた技能は高い評価を得ている。<br>特に、伝統的技術を基に、自然樹木の特性を十分に生かした造園技能の向上と改善に尽力してきた。作庭する際には、地域の立地や環境を考慮し、四季折々で楽しめる自然樹木を配置するとともに木質チップなどの自然素材と近代的な門まわりの構造物を巧みに組み合わせることで、自然と機能性が調和した作庭には定評がある。また、造園技能講習会講師や造園技能検定委員など、後進技能者の育成に貢献している。                                     |         |

| 号番 | 種職         | 氏 名(年齢)<br>所 属                          | 技能の概要   | 写 真 |
|----|------------|---|---|-----|
| 13 | ゴム製品成型工    | いのうえ よしひろ<br>井上 芳博(55)<br>(株)ムーンスター     | 長年にわたり工場設備のメンテナンス業務に携わってきた。豊富な知識と卓越した技術、柔軟な対応力により設備故障時の対応や設備改良に取り組み、これにより、品質や生産性の向上、経費の削減に大きく貢献してきた。現在は、メンテナンス業務を行いながら後進の育成にも尽力しており自身の知識と経験をしっかりと伝承し、社内のものづくりを支える優秀な保全技術者の育成に大きく貢献している。   |     |
| 14 | 木製家具・建具製造工 | *************************************   | 伝統的な道具である「花鉋(はなかんな)」を用いた手加工にこだわり、緻密な模様を生み出す技術は極めて優れている。 斬新な図柄やデザインを取り入れることで、和風、洋風どちらの空間にも調和する作品作りを可能としている。 また、投影式組子ランプシェードなど、技能を小物の開発に移転し組子の新たな魅力を引き出している。 JR九州のクルーズトレイン「ななつ星in九州」の車両内装の組子装飾ではTeam OKAWAの主力として参加。 列車内でその姿を保持し続ける匠の技術は国内最高水準であると評価されている。           |     |
| 15 | 木製曲物製造工    | gg feat<br>馬場 猛(77)<br>馬場水車場            | 長年にわたり線香原料となる杉葉製粉業に従事し、水力と木質燃料を使い、自然素材のみを原料にした線香製造技術に卓越している。特に、動力水車を用いた伝統的製粉技術は、杉葉の採取から線香製造までを一貫生産する全国でも希少な技能である。井堰と水門で水量や水車回転を制御し、熱を発生させずに杉葉の香りを保ち、線香成形に適した高品質な杉粉な製粉する独自の技術を保持している。  |     |
| 16 | 洋生菓子製造工    | せがわ たかし<br>瀬川 隆司(56)<br>(株)瀬川           | 創業102年の和洋菓子店四代目として、衛生管理と製菓技術に関する専門的知識に基づき、安全かつ高品質な菓子製造を継続している。<br>和菓子と洋菓子の双方の製造に携わる傍ら、地元食材を活かした創作菓子の開発にも積極的に取り組み、産学・地域連携を通じてその普及に貢献した。また、高校生との商品の企画・製造協力や職場体験の受け入れを通じ、地元高校や中学校と連携しながら次世代の育成にも積極的に取り組んでいる。   |     |
| 17 | 和生菓子製造工    | まつもと ひろき<br>松本 弘樹(64)<br>(株)富貴          | 45年間培った高い技術力で、菓子の製造から商品開発まで業務全般を担う。和菓子製造1級の資格を持ち、技能検定の問題作成や講習会の講師を務めるなど、後進の指導育成にも力を注ぐ。福岡市和菓子組合では「博多水無月」の開発を通じて和菓子業界全体の活性化に貢献した。福岡県菓子工業組合の専務理事として業界全般の課題に取り組む他、アメリカ37州で和菓子餌会社の展開や韓国での和菓子製造アドバイザーを務めるなど和菓子文化の普及伝承に貢献している。   |     |
| 18 | 日本料理調理人    | Lip とう けんじ<br>首藤 健児(55)<br>IMD LABO株式会社 | 日本料理の調理技術と食材に関する深い知識を持つ専門家として、伝統的な調理法を活かした店舗のメニュー開発から運営に効率的なオペレーション開発を行う。食の安全を確保する衛生管理にも力を入れ、調理技術を含め後進の指導育成にも尽力している。毎年、食育活動や食を通じたボランティアに積極的に参加し、社会貢献活動も活発に行なっている。福岡県日本調理技能士会主催の日本料理技能展にも数多く出品し、業界の発展に協力している。令和3年には、調理師関係功労者厚生労働大臣表彰(調理業務功労者部門)において、厚生労働大臣表彰を受賞した。 |     |

| 号番 | 種職         | 氏 名(年齢)<br>所 属                        | 技能の概要  | 写 真  |
|----|------------|---------------------------------------|--|--|
| 19 | 金属塗装工      | Lのはら はるひさ<br>篠原 晴久(53)<br>トヨタ自動車九州(株) | 樹脂塗装業務に34年間従事し、その卓越した技術と幅<br>広い知見をもって品質向上や新型車対応、環境配慮<br>型材料への転換、塗装ブースの高度化に尽力してき<br>た。特に、カーボンニュートラル推進にも貢献した。ま<br>た、豊富な経験に基づく熟練技能を次世代へ継承すべ<br>く、手吹き塗装技術の伝承と後進の育成に積極的に取<br>り組んでいる。  |  |
| 20 | がん具製造工     | のだ ゆうずけ<br>野田 祐輔(46)<br>博多人形商工業協同組合   | 師匠から受け継いだ博多人形の技術・技法の研鑽を重ね、歴史物や武者物を得意としている。近年では、「未来型博多人形」として、鳥や動物の制作にも熱心で、新作博多人形展において経済産業大臣賞や国土交通大臣賞を受賞しており、その技術力の高さが証明されている。人形作りに対するアイデアや彩色の斬新さは、従来の博多人形のフォルムにとらわれない独特の個性があり、芸術性豊かで現代インテリアとしての評価は高く、さらなる高みを目指して精進している。                                       | STORY OF THE PARTY |
| 21 | フラワー デザイナー | いまはし れいこ<br>今橋 玲子(63)<br>(有)イマハシ花店    | フラワーデザイン業界では西洋風の生花作品が主流を<br>占める中、竹炭などの日本古来の植物素材と茶道に代<br>表される日本の伝統美と精神美を融合した独自の作品<br>を創作。WAFA世界大会において最優秀賞を受賞し、<br>日本の伝統美と精神美を広く世界に周知せしめた。そ<br>の後、二度の脳出血により車いす生活になるも、フラ<br>ワーデザインの技術と伝統美を駆使した壁掛けを制作<br>し、日展入選、日本現代工芸賞受賞など、フラワーデザインを身の回りの装飾品から芸術作品へと昇華せしめ<br>た。 |  |